

研究談話会例会における話題の一覧 22年度～25年度

25年度	月	日	曜	人数	発表者	題目
1回	04.	05	金	14h-17h	馬場俊介	欧州における土木建造物について芸術と技術を語る
2回	05.	19	月	14h-17h	吉井千周	現代に生きるモン族——越境する歴史と文化
特別	06.	02	月	14h-17h	大嶋仁	ゲーテ的科學の世界
	06.			14h-17h	川崎一朗	首都圏直下概要
	07.			14h-17h	林 衛	社会不条理、かと
	08.			14h-17h		

24年度	月	日	曜	人数	発表者	題目
1回	04.	30	火	14h-17h	七沢潔	原発事故の収束は誰が担うのか～チェルノブイリ、東海村、福島事例から
2回	05.	24	金	14h-17h	12 林 衛	水俣、カネミ、福島原発の本質を探る
3回	06.	24	月	14h-17h20	11 川崎一朗	地震防災と歴史的文化遺産
4回	07.	29	月	14h-17h	10 清水秀丸	木造建築の耐震
5回	08.	23	金	14h-17h	10 久守一敏	福知山水害2014訴訟
6回	09.	25	水	14h-16h30	16 中村秀則	持続可能な開発目標に関するフィンランド・日本市民対話
7回	10.	15	火	14h-17h	浅井竜也	建物の耐津波安全性と包括的耐震性評価
8回	11.	13	水	14h-17h	8 長谷見雄二	人口減少時代の木造密集地区の再構築に向けて
9回	12.	04	水	15h30-17h30	11 橋本隆雄	2024年能登半島地震による宅地液状化・盛土被害と復旧対策
10回	01.	14	火	14h-17h	8 岡田知弘	「災害と地域社会」：能登半島地震の特性と復旧・復興をめぐる対抗軸」対策
11回	02.	06	木	14h-17h	14 富樫豊	子ども環境問題
12回	03.	06	木	14h-17h	14 坂井修一	自分の頭で考える、常に本質に立ち返って

23年度	月	日	曜	人数	発表者	題目
1回	04.	25	火	14h-17h	岡田成幸	災害対策を考える：津波避難対策はSDGsに反す、災害対策提案と民主主義の葛藤
2回	05.	25	木	14h-17h	11 林 衛	東日本大震災、大川小学校訴訟
3回	06.	21	水	14h-17h	9 熊澤栄二	哲学と技術
4回	07.	26	水	15h-17h30	11 佃 遥	災害からの住まいの復興に関する共有知構築
5回	08.	31	木	14h-17h	8 全員討議	建築と芸術
6回	09.	26	火	15h-17h30	8 大塚彩美	ドイツ紀行（市民参加や地域エネルギー）
7回	10.	11	水	14h-17h	山邊奈生	イエに関する研究：物理的イエと社会的イエ、イエ地域、イエ倫理
8回	11.	29	水	14h-17h	15 星野克美	「人新世」、悪魔のシナリオ～A.Gutierrez、人類は地獄の門を開いた～
9回	12.	18	月	15h30-17h30	21 窪田亜矢	原発災害の示唆
10回	01.	29	月	14h-17h	9 林 衛	災害・公害と社会
11回	02.	27	火	14h-17h	20 神田順	建築基本法制定とSDGs
12回	03.	22	金	14h-17h	8 阿部重徳	東日本大震災検証

←SDGs系と合同開催

22年度	月	日	曜	人数	発表者	題目
1回	07.	08	金	14h-17h	10 野末雅寛	哲学と工学の対話
					川崎一朗	立山の賦
2回	08.	29	月	14h-17h	11 糸長、他	神宮外苑再開発問題
3回	09.	30	金	14h-17h	11 橋美知子	美的教育の役割として、教育者と作家と研究者に橋を架ける仕事
4回	10.	24	月	14h-17h	10 千代崎一夫	東京の大規模開発とまちづくりの市民運動
					佐倉弘祐	水と都市
5回	11.	22	火	17h-19h	外岡豊	気候危機対応と防災
6回	12.	28	水	14h-18h	富樫豊	足元から世の中を展望す
					宮本照嗣	社会と市民参加の変化
7回	01.	12	木	14h-17h	橋本隆雄	熱海の土石流災害
8回	02.	22	水	14h-17h	7 大塚彩美	市民会議

←地球環境と合同開催

9回	03.28	火	14h-17h	11	川崎一朗	SDGs理解のための日本の歴史;2000万年前の日本海の拡大から現在の森林飽和まで
					森重健一	AIの動向
					棒田恵	オランダの学校建築
